

令和5年 第2回

仙北市教育委員会定例会会議録

令和5年1月19日

仙北市教育委員会

## 令和5年 第2回 仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 令和5年1月19日（木） 午後2時

2 場 所 西木総合開発センター 2階 集会室

### 3 出席委員

|          |        |
|----------|--------|
| 教育長      | 須田 喬   |
| 教育長職務代理者 | 坂本 佐穂  |
| 委員       | 橋本 勲   |
| 委員       | 細川 伸也  |
| 委員       | 田口 桂一郎 |

### 4 出席した事務局職員

|                |        |
|----------------|--------|
| 教育部長           | 藤村 幸子  |
| 教育次長兼学校教育課長    | 鈴木 徹   |
| 教育次長兼角館公民館長    | 佐々木 信介 |
| 教育総務課長         | 湯澤 満   |
| 学校適正配置準備室長     | 若松 正輝  |
| 学校適正配置準備室参事    | 毛利 俊介  |
| 北浦教育文化研究所長     | 門脇 貴一郎 |
| 総合給食センター所長     | 草薨 直子  |
| 生涯学習課長         | 武藤 寛幸  |
| 中央公民館長         | 高橋 良宣  |
| 田沢湖公民館長        | 大石 基   |
| 市民会館長          | 信田 昌史  |
| 田沢湖図書館長        | 真崎 智明  |
| 学習資料館・イベント交流館長 | 松橋 幸太郎 |
| 平福記念美術館長       | 小松 亜希子 |
| 平福記念美術館参事      | 高橋 百合子 |

### 5 議事

#### (1) 議案審議

議案第2号 仙北市基金条例の一部を改正する条例制定について

#### (2) 報告事項

報告第1号 仙北市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱制定について

報告第2号 若鮎応援プラン卒業祝金事業実施要綱の一部を改正する要綱制定について

報告第3号 仙北市学校給食調理等業務委託プロポーザル選定委員会設置要綱の制定について

## 6 審議の経過及び結果

(須田教育長)

ただいまから、令和5年第2回仙北市教育委員会1月定例会を開催いたします。

それでは、本定例会の出席委員、職員を紹介します。

－出席委員、職員を紹介－

会議書記には齋藤課長補佐と上野課長補佐を任命します。署名員は、私と委員から坂本教育長職務代理者を指名します。前回会議録の承認についてですが、臨時会については、細川委員、定例会については橋本委員、会議が終わりしだい署名をいただきます。

教育長挨拶ですけれども、私の方からは1点報告させていただきます。

1月11日に行われた子ども議会についてです。各学校代表2人から3人が作成した企画書を基にプレゼンを行いました。今回はこれまでの子ども議会より、さらにバージョンアップするために、市が抱える最大の課題である人口減少に視点をあて、それについての具体的な提言をしてもらいました。ゆえに、非常に具体的な提言が多かったです。さらに提言に終わらず、その事業化についても市当局と確認しておりましたから、予算化も含めた形での提言となりました。予算化については、まだまだ課題がありますが、市長からは今後、定期的に子どもたちと協議していき、一つでも二つでも市政に反映させたいという話をいただいております。自分たちの意見が実現化されることで、子どもたちの政治参画意識が高まります。山形県の遊佐町においては、子ども議会用の政策予算が毎年計上されておりますが、若者の選挙の投票率が高いと聞いております。次年度から実施するヤマメ・サクラマスプロジェクトにも関わる内容であり、教育委員会としても継続して関わっていきたいと考えております。私からは以上です。

次に教育長の報告についてです。

－資料により説明－

教育長の報告について何かご質問ありませんか。

－質問なし－

それでは審議案件に入ります。議案審議、議案第2号仙北市基金条例の一部を改正する条例制定についてお願いいたします。

(湯澤教育総務課長)

議案綴の1ページ、2ページをご覧ください。仙北市基金条例の一部を改正する条例制定についてであります。こちらの方、2ページに記載ありますけれども、第3条第2項の表の育英奨学基金の額ですが、299,080,000円を299,180,000円に改めるものです。こちらの方は昨年11月に角館感恩講様から、10万円のご寄付をいただきまして、育英奨学基金の方にその10万円を積み立てるということでございます。2月3月の仙北市定例議会の方に、このように条例の改正を上程する予定となっております。説明は以上です。

(須田教育長)

ご質問ありませんか。

－質問なし－

議案第2号については、承認いたします。

(須田教育長)

次に報告事項に入ります。報告第1号仙北市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱制定についてお願いします。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

4ページからお願いします。仙北市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱制定についてです。詳しくは6ページをご覧ください。改正前と改正後の表がありますが、改正前の支給内容の方に、左記の金額を上限とする。卒業アルバム代等として一律に負担すべきこととなる経費とありますが、これを削るということです。こちらは、卒業アルバムの制作が、小学校におきましては、保護者が行っている学校もあり、また完成が4月か5月になることもあります。年度中に金額を確定することができない状態であることが分かりました。その為、多くの方に支給することを考えますと、その文言を削ることで、縛りを解くものと考えまして、削ることにいたしました。報告第1号については以上です。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。

それでは、報告第2号若鮎応援プラン卒業祝金事業実施要綱の一部を改正する要綱制定についてお願いします。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

続きまして、7ページからお願いします。若鮎応援プラン卒業祝金事業実施要綱の一部を改正する要綱制定についてです。こちらにつきましては詳しくは16ページをご覧ください。16ページの改正後の方で説明したいと思います。第1条に、卒業時や進級時ということ、進級時にを加えました。こちらは寄付をくださる草薨様のご意向で高校1年生、高校2年生の進級時にも祝金を支給したいということで、また寄付を増額していただいております。その点で進級時ということ、改正をしております。併せまして第3条、第4条、第5条も、そのような形に変更しております。そうすれば進級時にいくらお祝い金となるかということですが、第5条第2項の(1)高等学校、特別支援学校(高等部)を1学年から2学年に進級する場合2万円、それから高等学校、特別支援学校(高等部)を、2学年から3学年に進級する場合2万円ということで、こちらの方も草薨様のご意向で、2万円を支給することです。以上報告です。

(須田教育長)

本当にありがたい限りです。よろしいでしょうか。

(須田教育長)

それでは、報告第3号仙北市学校給食調理等業務委託プロポーザル選定委員会設置要綱の制定についてお願いいたします。

(草薨給食センター所長)

資料の21ページ、22ページをご覧ください。仙北市学校給食調理等業務委託プロポーザル選定委員会設置要綱を制定しましたのでご報告いたします。

現在の学校給食調理等業務委託が、令和4年度で契約が終了します。次年度以降の業務委託について、市が指名型プロポーザルにより仙北市学校給食調理等業務委託事業候補者の選定を行い、その運営に関する事項を定めることを目的として令和4年11月28日に制定されました。明日、1月20日になりますが、参加表明業者によるプレゼンテーションが行われ、2月中には契約の締結まで行う予定となっています。この要綱ですが、第3条第4項中にあります、プロポーザルの評価を行い、第5号の委託事業候補者の選定が完了するまでの要綱となっております。説明は以上です。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。それでは、その他に入ります。いじめ、不登校対策についてお願いします。

(門脇北浦教育文化研究所長)

12月のいじめ、不登校の状況について報告をいたします。

最初にいじめについてです。4月は12件、5月が16件、6月が24件、7月が16件、8月が7件、9月が7件、10月が15件、11月は17件、12月は15件でした。

次に、12月の不登校児童生徒についてです。小学校2名、中学校15名の計17件となっております。

以上、12月のいじめ、不登校の状況報告でした。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。

それでは、教育委員会定例会会議録のホームページ公開についてお願いします。

(湯澤教育総務課長)

令和4年第16回教育委員会定例会会議録をご覧ください。

－資料により説明－

誤字脱字等ありましたら、後で私の方まで教えていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。以上です。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。次に、学校適正配置準備室からの報告についてお願いします。

(若松学校適正配置準備室長)

学校適正配置準備室からは、報告が4点とそれに関連してお諮りしたいことが1点ございます。まず、報告の一つ目ですが、昨年の10月に実施しました、将来の小中学校の在り方に関わるアンケートの自由記述についてまとめりましたので、その概要について担当の毛利参事から説明をいたします。

(毛利学校適正配置準備室参事)

私の方から、自由記述の部分についてご報告させていただきます。自由記述の紙は、保護者の記述と保護者以外の記述の2種類あるのですが、両方見ながらだと見にくいので、保護者の自由記述を基本にしてご説明させていただきます。

一番左側の欄は、内容区分です。一つ目は生徒指導関係。色がついているのは小学校区毎で、共通して書かれていたものです。また色がついている内容については、保護者以外でも同じような記述がありました。相手を思いやる指導、赤いところは保護者以外でも同じような人数の方が書かれています。安全に楽しく過ごせる環境、いじめの適切な対応のところも同じです。これらはアンケートをとった時に、思いやり・協力、規範意識というものを保護者の方は大事にしていることが数値で見られましたけれども、自由記述からもそのような内容が伺えるものとなっていると思います。

次に学習指導関係ですが、学力を上げるというよりは、やはり最初に書いてあるふるさと教育、国際教育、時代に合わせた柔軟な教育、個に応じた教育、キャリア教育。といったように、今まさに教育委員会で大事にしようとしている教育を求める声がたくさん書かれていました。また時代に合わせた柔軟な教育という黄色の部分は保護者の自由記述では複数見られましたが、保護者以外では一つということで、意識の違い、情報の違いが、今子どもを抱えている人と、もう子育てが終わった人にはあると感じられます。今ご説明した生徒指導関係、学習指導関係、これがとても記述内容には多く、合計すると159の方が記述していました。

次の特別支援関係は記載のとおりです。また教職員についてもいくつか記載がみられました。

続いて、連携・交流。やはり保護者も保護者以外も学校と地域がもっと連携を進めていくべきだと考えているようです。これはコミュニティスクール、地域の郷土活動など具体的な内容が書かれているものもありました。また、地域と連携で学校だけでなく町づくり

もという記述もありました。また近隣校との連携。これは人数が少なくなってきたから、一層連携を進めていこうという内容が多かったです。

続いて、部活・スポ少。赤い色がついているやりたい活動が出来る環境を。部活動の数や種類が制限されているので、そこを解決してほしいと願っている保護者がいることが分かりました。主に小学生の保護者ですけれども、青い部分、部活やスポ少の親の負担軽減。親が主体となって活動を進めていくのは、とても負担であるという記述がありました。

次に通学・送迎です。ここが保護者と保護者以外で違いが出たんですが、保護者に関しては通学手段とか負担への配慮をしてほしい。子どもの負担に対応してほしい。一方、保護者以外では、通学路の安全を確保してほしいということで、実際自分たちが送迎する方は負担等を考えてほしい。負担しない立場の方は、安全な登下校を望んでいるということが、はっきりと分かりました。

次に設備についてです。設備は全部で12人の記述がありましたが、12人中8人が、校舎の老朽化とトイレについての記述でした。やはりこれは今後も考えていかなければいけない問題だなと思います。

続いて、教育制度・方針。これについては、一貫教育。小中一貫、小中高一貫。義務教育学校というような記述がみられ、そこに求めている内容は、そうすることで独自の教育方針が出せるのではないかと、それによって人が集まる町づくりが出来るのではないかとという考えが多かったです。

自由記述2枚目の方ですが、学校規模。やはり両論ありました。多人数がよいという意見。少人数がよいという意見。これについては、これから個別具体的な話が、出てくると思いますので、しっかりと丁寧に意見を聞きながら進めていく必要があるとこの記述からも感じました。

続いて、統合・適正配置。今回のアンケートでは統合という言葉は一切使っていませんが、この記述の人数が2番目に多かったです。78名の方が記述していました。どの地区でも早めの統合をとというものと、少し後ろ向きですが、統合は仕方がないという記述があり、一方で地域に学校は必要。統合は教育の質が下がる。という意見もありました。角館地区の真ん中あたりに、「子ども第一で進めて」という記述がありました。これについては保護者以外でも同じような記述がありまして、それは私たち適正配置が、いろいろ話し合いながら進めていく中で必ず出てくる言葉ですので、これから進めていくうえで立ち返る原点となる部分だなと感じています。

それ以降は教育とは直接関係ありませんけれども、子育て支援を望む声、町づくりについての要望。これは教育ではないからといって、無視するわけにもいかず、これを担当している課と連携しながら、いろいろな情報を提供して進めていく必要があると感じています。

また最後だけ保護者以外の方の資料に触れますが、保護者以外の一番最後2枚目です。感想が書かれていましたが、黄色い部分子どもの減少に驚いた。学校について考える機会になった。子どもの減少が予想以上。ということで、このように感じてくれただけでもアンケートを実施した意味があるなど私は感じています。自由記述の報告については以上です。

(須田教育長)

ありがとうございました。若松室長、続けてお願いします。

(若松学校適正配置準備室長)

続きまして、報告の二つ目です。学校適正配置に関する情報発信についてです。昨年12月、仙北市のホームページに学校適正配置コーナーを設けました。内容は検討委員会の

会議記録、意見交換会の結果、アンケート結果などを掲載して、今後随時更新していくものです。ホームページのトップページには、バナーを設定しまして、ワンクリックで中身に容易にアクセス出来るようにしております。委員の皆様もご覧いただきたいと思います。

3点目です。先月の教育委員会の協議会において、学校適正配置方針（案）についてご検討いただいた際に、橋本委員から徒歩で4キロ以上、自転車で6キロ以上の距離から通学している児童生徒数に関するご質問をいただきました。通学の方法等については、今後適正配置を考えていくうえで、最も市民の関心が高く重要なテーマになると捉えております。こうしたことも踏まえまして、現在ご質問内容も含めて小学校4年生から中学生2年生を対象に、登下校別、季節あるいは気象条件別に、交通手段と所要時間、距離について調査をしているところです。2月の委員会で報告出来るものと思っております。

報告の最後4点目、第3回学校適正配置検討委員会の開催についてですが、今月30日（月）に開催する予定です。今回は学校適正配置方針について、第2回目の会議では、素案だったものに修正を加えまして、今回は案として格上げしたものをご検討いただきたいと思っております。

報告は以上ですが、関連しまして、この機会にお諮りしたいことがございます。学校適正配置方針のサブタイトルについてです。事前にお送りしました資料にたたき台として、事務局から候補案を提示しておりますけれども、ここでご意見あるいはご提案をいただき、出来れば決定したいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

(須田教育長)

田口委員からお願いします。

(田口委員)

この4つの中からですか。

(若松学校適正配置準備室長)

4つの中からでも結構ですし、どれかに修正を加えてという形でも結構です。お願いします。

(田口委員)

どれか一つというのは非常に難しいと思いますし、どれもよく考えられた内容であるし、これまでの適正配置の方針案を検討していく中で、どの項目もポイントの中に含まれている内容だと思います。学校の適正配置に関する方針なので、どこかに、子ども、あるいは教育という言葉があった方がいいのかなど。そういうニュアンスを残した方がいいのかなという感じはしました。例えば、3番、4番になると、学校教育関係以外の部面も入ってくるのかなという感じがします。1番もそうですけれども。私はこの中では2番辺りがいいのではないかなという感じを受けました。

(橋本委員)

私は、①の地域とともに考える子どもたちの未来というのがいいかなと思いました。学校適正配置を進めるということで、地域とか市民、そういう皆さんと丁寧に意見交換を重ねながら進めていくことにしています。この中に、地域という言葉が入っていますので、これがいいかなと思いました。それともう一つ、子どもたちの未来という言葉がありますが、この言葉を広く考えると2番の教育環境とか、3番の社会を担う力とか、より良い学びとか。そういうのが当然、未来の中に含まれているのではないかなと思ひまして、1番がいいかなと思いました。

(坂本教育長職務代理者)

私は、1番か2番かなと思ってきました。地域と教育、両方入っていたら、よりいいかなと思いました。

(細川委員)

私は2番がいいと思います。これから就学する子どもたちのことや赤ちゃんということまで考えて、2番がいいと思います。

(須田教育長)

そうしますと、今の4人の委員の意見を尊重しながら、この次の学校適正配置検討委員会で決めさせていただいてよろしいでしょうか。

－異議なし－

ということでよろしくお願ひします。

(若松学校適正配置準備室長)

ありがとうございました。

(須田教育長)

その他ということで、何かありますか。

(藤村教育部長)

2月の定例会では、議会の方に提案する当初予算だったり、方針だったり、ボリュームあるわけですが、本日も基金条例の改正について提案させていただきましたが、もう二つ、角館町平福記念美術館と学習資料館・イベント交流館の、今市民は無料ですが、市外からのお客様の入館料、観覧料の見直しの検討を図るところでございます。今後、審議会、各運営審議会や協議会を経て、料金の値上げはどうしても避けられないということで、次回の2月定例会の時に議案として提出させていただきますのでよろしくお願ひいたします。

(須田教育長)

その他ありますか。自衛隊のコンサートについてよろしいですか。

(信田市民会館長)

仙北市民会館から皆さんにチラシお渡ししておりますが、2月12日(日)午後2時から仙北市民会館におきまして、陸上自衛隊第9音楽隊のコンサートを開催いたします。2月1日から整理券を配布する予定です。田沢湖図書館、角館、西木、田沢湖の各市民センターで、平日のみですが、そちらの方でチケットの方を一人2枚ということになりますので、どうか皆さんご鑑賞いただければと思います。以上です。

(須田教育長)

田沢湖図書館お願ひします。

(真崎田沢湖図書館長)

最初に配布しておりましたA4用紙を半分に折ったこちらの用紙の方をご覧ください。ミニパネル展示「生保内セツルメントハウスと設計者今和次郎」さんの展示会を行います。内容についてはご覧のとおりです。セツルメントハウスというのは今も活動している生保内地区の生保内友の会、その前身となります活動団体です。こちらの方の展示会に併せまして、2月18日に、ヒトハコ絵本フリーマーケットも行います。セツルメントハウスの活動内容が、生保内小学校における読み聞かせですとか、図書館での読み聞かせ、子どもたちに生活について大事なものを教えるなどとなっております。今回は活動の幅を広げるために、来た方々に、絵本の読み聞かせをする人を募集する意味も含めまして、フリーマーケットも開催します。皆様どうかご覧くださいますようお願ひします。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。その他ありますか。

先ほどもお話ししましたが、2月9日総合教育会議、2月15日(水)ですが、教育委員会の協議会と定例会。非常に盛りだくさんですので、何とかよろしくお願ひします。



それではこれで、令和5年第2回仙北市教育委員会1月定例会を終了いたします。ありがとうございました。

(閉会宣言：午後2時38分)